

東青梅

4月25日（火） 曇り

- ★ 西から雨雲が近づきつつあり、午前中は晴れていたが、午後は曇ってきて空気もひんやりしてきた。しかし雨は降らず、散策には涼しくて快適であった。天気はすっきりしなかったが、田無駅に集合したのは14名で、賑やかな散策となった。
- ★ 田無発13時2分の拝島行きに乗車、そこで青梅線に乗り換えて、当初は東青梅で下車する予定であったが、桑田さんの提言により一駅先の青梅駅で下車した。その方が鉄道公園に近いし、順路としてもスムーズであった。
- ★ 青梅駅の改札を出て、左へ200mほど歩くとT字路があり、案内標識に従って左折するとすぐ青梅線の跨線橋である。跨線橋を渡って右折するといきなり急な登り坂となる。左手にテニスコート、右手の急斜面に墓地を見ながら急坂を喘ぎ喘ぎ登る。2度Uターンをしたら坂が緩やかになり、間もなく青梅鉄道公園に着いた。
- ★ 青梅鉄道公園は、1962年に鉄道開業90周年事業として、旧国鉄（現JR東日本）が開設したもので、かつて日本中を走っていた鉄道車両がそのまま野外展示されている。明治から大正にかけて旅客用として活躍した5500形蒸気機関車、蒸気機関車全盛期のC11形、「デゴイチ」という愛称で親しまれたD51蒸気機関車、国産初の電気機関車ED16、1964年に開業した東海道新幹線の0系22形車両など、懐かしい車両が10両展示されている。中には国指定の重要文化財に指定されているものもある。運転席や車内にも入れるので大変興味深かった。
「狭い山道をどうやってこの大きな車体を運んだか」ということが気になって夜も眠れないことになりそうなので、職員の方に訪ねたら、台車部分と車体上部を切り離して運んだということであった。



C11 形蒸気機関車



D51 形蒸気機関車



0系22形新幹線

- ★ 鉄道公園を出て永山公園通りを東へ行くと、緩やかな坂を下って、やがて青梅市街地の開けた場所に出る。成木街道を越え、青梅四小の先で右折して城山通りを進む。右手は青梅市街、左手は霞丘陵である。
四小の先に東京都指定史跡の勝沼城跡がある。霞川上流部に南に臨む霞丘陵に位置する平山城である。上杉謙信の旗下にあった三田氏の居城であったが、永禄6年（1563）頃に滝山



城の北条氏照によって三田氏は滅ぼされたという。三田氏が滅亡したあとは北条氏照の家臣・師岡将景が入城したという。現在は宝蔵山光明寺という曹洞宗のお寺になっていて、その裏には師岡神社もある。

★ 光明寺から 1km ほどは城山通りを歩く。途中には吹上しょうぶ公園があるが、菖蒲の時期ではないのでここは素通りする。城山通り沿いには光明寺、妙光院、宗泉寺という曹洞宗の立派なお寺が並んでいる。



竹林の中の切通し

★ 案内標識に従って城山通りから左の山道に入る。急勾配の道を登って行くとその先は昼なお暗き竹林で、竹はやや茶色くなっていて、正に竹の秋である。「やすらぎの家」とか「塩船園」というモダンな造りの特別養護老人ホームが並んで建っている。切通しを抜けると塩船観音寺の前に出た。

★ 大悲山塩船観音寺は真言宗醍醐派の別格本山で、大化年間（645～650）に若狭国の八百比丘尼が 1 寸 8 分の紫金の千手観音を安置したのが開山と伝えられ、貞観年間（859～877）には安然和尚が 12 の坊舎を建てて興隆を極めたと言う。本尊は十一面観音菩薩の木彫立像である。寺院を取り巻く山の斜面全体にツツジの花が咲き乱れる「花の寺」として有名で、ツツジの季節は多くの参拝客や観光客でにぎわう。この日も観光バスや車で来た人たちが賑わっていた。

山門を抜けるとすぐ阿弥陀堂があり、大杉の先に観音堂（本堂）がある。更に進むとぼけ封じの薬師堂があり、階段を登ると視界が開けて、広い庭と護摩堂、護摩堂の背後には色とりどりのツツジが咲き乱れる裏山と平和観音立像を望むことが出来る。護摩堂の前の普門閣には売店があり、お土産品のほかに焼き団子やアイスクリームなども売っている。お腹も空いていたので焼き団子が美味しかった。



山門（仁王門）国指定重要文化財



本堂・厨子 国指定重要文化財



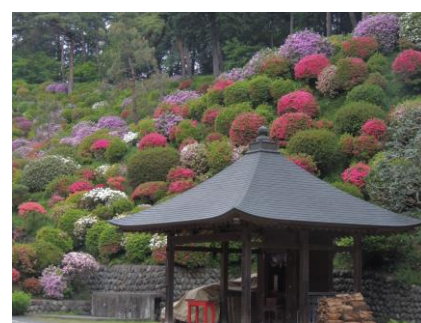
薬師堂 青梅市有形文化財



護摩堂前の広い庭



新護摩堂弘誓閣



ツツジの山

★ 塩船観音寺を出たときは既に 4 時を過ぎていたので、バスで河辺駅まで来て、青梅線と西武線乗り継いで田無駅に戻ったのは 6 時過ぎであった。



塩船観音寺 護摩堂の前で

今回は3人の俳人から俳句を頂きました。

山つつじ 花撫でながら 無口よし

山藤は 右巻のぼり 房重ね 金子正男

老鶯の 声透き通り 花の寺

塩船の 伽藍ぐるりと つつじ咲く

崖沿いの 山藤弦に 花あまた 志賀 勉

春終わる ふらふらふらと 散策す

鐘の音 幽かなるかな 桐の花

老杉の 落葉の冥き 古刹かな 桑田青三

吉成さんの写真俳句を別送します。本文と合わせてお楽しみください。

参加者 勝山成夫、金子正男、桑田制三、小島恕雄、志賀 勉、中島克三、原田一彦、
牧野昭夫、水野 聡夫妻、吉成勝好、臼井静江、中村仁美、関口和子 以上14名